

新庁舎建設事業説明会で寄せられた質問・意見

No	質問・意見	市の回答
1	耐震性能Ⅰ類以上を満足してほしい。	満足するよう計画しています。
2	かしわらテラスから大和川の水面が見えるようにしてほしい。	見える計画としています。
3	庁舎敷地から大和川河川敷公園に渡る隧道の検討をしてほしい。	庁舎敷地は高規格堤防特別区域に指定されており、災害リスクを検討し、難しいと判断しました。
4	新庁舎外壁の西面に縦ルーバーが計画されているが、景色が見えにくいのか検討してほしい。	日射、照度、熱シミュレーション、眺望遮蔽率の検討を行い計画しています。
5	新庁舎と別館を繋ぐ渡り廊下はバリアフリー上支障のないようにしてほしい。	大阪府福祉のまちづくり条例に基づき、高低差はバリアフリー対応のスロープを計画しています。

新庁舎建設事業説明会で寄せられた質問・意見

No	質問・意見	市の回答
6	災害対策フロアは4階より別館1Fの方が良いと思う。	危機管理課などは災害対策の指揮系統が円滑に行えるよう、災害対策本部・会議室と近接する災害対策フロアに配置しています。災害対策フロアは万が一の浸水被害にも備えるため4階としていますが、災害活動の実働組織となる上下水道部、都市デザイン部は現状の別館1階と2階の配置としています。
7	工事中は駐車場が制限されるとあるが、どのくらいの台数駐車できるのか。	教育センター解体段階では本庁側70台程度、別館側14台程度が駐車可能です。新庁舎建設段階では本庁側24台程度、別館側14台程度が駐車可能です。また、新庁舎建設段階以降は100台程度駐車できる大和川河川敷の駐車場を開放することを検討しています。
8	支持地盤はどのあたりになるのか。	地盤面からマイナス15～16mの位置を想定しています。
9	電源車とは何か。	建物の停電時に発電機を搭載した車を建物に接続して外部から電気を供給するものです。
10	庁内の執務室内の書類等が整理されていない。新庁舎ではきちんと整頓、管理してほしい。	わかりました。

この度は貴重なご意見ありがとうございました。